

授業科目(ナンバリング)	経済学 (AD112)			担当教員	城前 奈美		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
経済学の視点から、経済社会の動向を観察し分析するための基礎的な知識、潮流を知り、経済社会の動向に意見を持つことができるようになる。							⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	経済社会の動向に意見することができる。				授業内小課題 定期試験	20% 10%	
情報収集、分析力	経済社会の動向を観察し分析するための基礎的な知識を知る。				授業内小課題 定期試験	20% 50%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>授業内小課題（40%）は、基本的に各回の最後に行い、翌週に答え合わせをしてフィードバックするので、理解度の確認に役立つ。</p> <p>授業態度について、遅刻や他の受講者に迷惑をかけるような行為（私語など）により注意を受けた場合には、上述の評価点から減点する場合がある。</p>							
授業の概要							
<p>前半のミクロ経済学と、後半のマクロ経済学に大きく分けて授業を展開する。毎回配布する資料に、穴埋めや作図をしながら、ノートを完成させていく。各回で、グループワークやディスカッションを通して、理解を深めていく。講義終了時に小課題を課し、次の講義時に答え合わせをするので、理解度の確認に役立つ。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分である。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定しない。</p> <p>参考書：伊藤元重『入門経済学』日本評論社</p> <p>指定図書：伊藤元重『入門経済学』日本評論社</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
経済自由化や規制緩和など経済事情に関する新聞記事を切り抜いておき、その記事に対して自分の意見を考えるように心がける。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	経済学事始め	経済学的手法について。ミクロ（微視的）とマクロ（巨視的）の見方について。	日本経済新聞を読んでみる。
2	ミクロ(1) 需要と供給	需要曲線と供給曲線を使って、モノの価格がどのように決定するのかを知らう。	需要と供給という概念について復習する。
3	ミクロ(2) 消費者行動	家計を主とする消費者行動から、需要曲線の特性および一般均衡分析、消費者余剰について学ぼう。	消費者行動について復習する。
4	ミクロ(3) 消費者行動2	増税によって、モノの価格や、消費者余剰、生産者余剰はどのように変化するかを学ぼう。	需要と供給の仕組みについて復習する。
5	ミクロ(4) 市場取引と資源配分	「市場の自由な取引にまかせておけば、最適な資源配分が達成できる」メカニズムについて学ぼう。規制が緩和され自由化されていく経済社会の理論的な裏付けを知らう。	市場の法則に関するプリントに作図を完成させる。(宿題)
6	ミクロ(5) 市場の失敗	市場の資源配分効果には限界があり、公害などの外部効果、独占などがその典型的な例である。これらの事例を挙げ、政府や地方自治体の役割を探らう。	外部効果に関するプリントに作図を完成させる。
7	ミクロ(6) 比較優位と国際貿易	国際貿易の基本的な考え方である比較優位の法則を学び、自由貿易の利益を学ぼう。また、TPPについて考えてみよう。	自由貿易や経済統合について復習する。(宿題)
8	マクロ(1) 基本的な経済指標	GDPの三面等価からGDPとは何かを学び、日本のGDPを分解してみよう。また、GDPと物価、景気変動の関係について学ぼう。	GDPとその内容について復習する。
9	マクロ(2) 貨幣と金融	銀行による預金や貸し出し行動を中心とする金融システムを理解し、貨幣量と物価、為替レート、利子率との関わりを学び、金融政策の手段を導こう。	金融のしくみと金融政策について復習する。
10	マクロ(3) 財政・金融政策	財政政策や金融政策がどのようにマクロ経済に影響を及ぼすか、その影響を整理し、個々の政策がもつ長所と短所を学ぼう。	財政政策について復習する。
11	マクロ(4) 日本経済のグローバル化	経済のグローバル化に伴う政府の役割と、地方分権化に伴う地方自治体の役割について考えよう。	政府の役割について、意見を考える。
12	マクロ(5) 経済成長と経済発展	韓国やシンガポールのように急速に発展した国と、依然として低い所得水準にある国がある。一国の経済成長のスピードがどのような要因によって決まるのかを学ぼう。	経済成長について復習する。
13	経済史	資本主義体制の成立と発展、社会主義経済の登場と変容、日本経済やアジア経済の発展、経済統合について学ぼう。	日本やアジアの経済について復習する。
14	経済学思想	重商主義、重農主義、古典派、マルクス、新古典派、制度派など、経済思想の変遷とその歴史的背景について学ぼう。また、ケインズなどの著名な経済学者を知らう。	経済学の歴史について復習する。
15	総括	経済学と経済社会の潮流について、総括する。	15回の授業を振り返る。
16	定期試験	筆記試験を実施する。	筆記試験に向けた準備をする。